

第 5 回福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会議事概要

1 開催日時及び開催場所

日時：平成 26 年 3 月 29 日（土）14：00～16：30

場所：富岡町教育委員会 会議室（郡山市桑野 2-1-1）

2 委員

別紙の通り

3 会議の概要

(1) 中高一貫校の設置検討状況について

- 県教委から高校教育課の担当スタッフを増員し、いわき市四倉に四名配置したことが報告された。また、高校と県内 14 の大学との連携が可能であることやふるさと創造学に関するサテライト校での取組例が紹介された。
- 委員からは三つのコースについて、情報教育や英語教育の充実、野球部や陸上競技部の新設、募集パンフレットや制服の検討など新しい学校のイメージを明確にすることの提案がなされた。
- 双葉郡ならではの教育については、県教委と郡教育長会との意見交換に基づき、併設中学校と町立中学校との相違点や中高三年間ずつの望ましい在り方について今後も検討することが合意された。

(2) 先進校視察報告について

- 3月16日～17日に行われた宮崎県五ヶ瀬町への視察についての報告があった。宮崎県五ヶ瀬町中等学校について6学年の全寮制の学校であること、きめ細やかな指導による学力向上、フォレストピア学習と名付けられた体験学習、人間教育の場としての寮での教育など全国初の県立中等学校としての様々な取組の様子が報告された。
- 参考にしたい点として、中高カリキュラムの一貫性や寮における手厚い教育プログラム、地元に着した教育活動などが挙げられた。特に、一月視察の海士町と五ヶ瀬町の共通点として地域全体が学校や教室となって、地域総ぐるみで子供たちを育てていることや、外部の人の力をうまく生かしていることなどの報告があった。

(3) 子供未来会議実施報告について

- 8回にわたって延べ556人が参加した会議を通して、対話の場が子供たちの成長の場になっていることが報告された。テーマ別の話合いで共通していたことは、地域と積極的に関わっていききたいという子供たちの思いが強く出ていたことがある。
- また、この会議がアクティブラーニングの学習機会にもなっていたことや今までの意見を新しい学校づくりに生かしてほしいという子供たちの強い要望があったことも報告された。協議会としてはこの子供未来会議で出たアイデアや子供の声を町村立学校や新設の中高一貫校に反映させていくことが確認された。

(4) ワーキンググループ検討結果報告について

- ① 平成26年度双葉郡内の学校の「ふるさと創造学」で育てる資質・能力についての説明があり、各小・中学校に指針として紹介されたことや今後担当教職員の研修会を開く予定であることが報告された。また、学習成果の発表会を今年度は8、9、1月の年三回実施する案が提示された。
- ② 多様な主体との連携については、ふるさと創造学を軸にして進めていくことや地域創造の役割を担う社会教育施設の中高一貫校への併設などの要望が出された。また、事務局の体制強化や一貫校への指導主事や地域コーディネーターの配置など県教委との更なる連携が確認された。
- ③ 避難先調査の結果
児童・生徒の避難先調査の中間報告がなされ、町村の垣根を越えた学習支援の取組について協議会としての青写真を作りたいことが提起された。また、双葉ワールドへふるさと創造学の発表の場として参加する予定であること、WG②での郷土伝統芸能の発表の場としたいことの提案がなされ、いずれも了承された。

(5) 「新しい東北」先導モデル事業実施報告と今後のスケジュールについて

- 復興庁へ提出する今年度の実施概要と次年度の提案書(申請内容)を説明し、了承を得た。今後のスケジュールについては、四月中にWG①～③を開催すること。六月までに中高一貫校検討協議会と報告内容をすりあわせていくことが確認された。

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 委員名簿

H26. 2. 1 現在

(敬称略、計 15名)

委 員

- | | |
|----------|-------------------------------|
| ○ 武内 敏英 | 福島県双葉郡大熊町教育委員会教育長 |
| 猪狩 省造 | 福島県双葉郡葛尾村教育委員会教育長 |
| 矢内 賢太郎 | 福島県双葉郡檜葉町教育委員会教育長 |
| 畠山 熙一郎 | 福島県双葉郡浪江町教育委員会教育長 |
| 林 志信 | 福島県双葉郡富岡町教育委員会教育長職務代理者 |
| 浅野 一 | 福島県双葉郡広野町教育委員会教育長 (代理：松本教育次長) |
| 秋元 正 | 福島県双葉郡川内村教育委員会教育長 |
| 半谷 淳 | 福島県双葉郡双葉町教育委員会教育長 |
| ◎ 中田 スウラ | 福島大学人間発達文化学類教授 |
| 荒井 優 | 公益財団法人東日本大震災復興支援財団専務理事 |
| 杉 昭重 | 福島県教育委員会教育長 (代理：尾形理事) |
| 有松 育子 | 文部科学省大臣官房審議官 (生涯学習政策局担当) |
| 藤原 誠 | 文部科学省大臣官房審議官 (初等中等教育局担当) |
| 齊藤 馨 | 復興庁原子力災害復興班参事官 |
| 高橋 直人 | 復興庁福島復興局次長 |

(◎：座長、○：副座長)